

地域包括支援センター坂下通信

認知症の人が住んでいる世界を理解するシリーズ⑧

認知症の人に強い口調で叱責すると、強い反発が帰ってきます。不愉快に対応されると、誰でも不愉快になります。このような反応は認知症の方に限った事ではありません。笑顔に向けられれば笑顔で返したくなり、不愉快に対応されると不愉快になります。

認知症の方の場合、家族や周囲の人がよかれと思ってやったことが理解できなくて反発されることがあります。本人は自分にとってはいやなことと受け取る場合があります。本人の気持ちを察して考えると無理もないと理解できます。

(現れ方の例と対応のヒント)

「お風呂に入りましょう」と入浴を勧めた時「入らない」と拒否されることがあります。無理強いすると「絶対に嫌だ!」とテコでも動かなくなる程強く拒否されます。

本人の気持ちは、「なぜ昼間からは入らないといけないのか」「人前で裸になりたくない」など理由があるかもしれません。本人がどう受けとっているか想像して本人が納得できるような言い方を工夫します。本人への害や周囲の迷惑にならないならそのままにしておいてもいいでしょう。



お花見に行きましょうね



リハビリや入浴、排せつの介助などは認知症の方にとって「痛い」「恥ずかしい」など、嫌な事でしかないかもしれません。無理強いせず「楽しそうなイベント」に思えるような声かけなどで引き入れることがコツの一つです

地域包括支援センター坂下
春日井市神屋町1306-1
☎：93-1314
開所時間：月～金曜日 9:00～17:30

出前講座開催、福祉サービス等の



ご相談は 左記まで

担当：永杉、戸田、木根、飯田、杉山

地元のお元気さん



このコーナーでは、毎回地域で活動している団体やグループ、介護予防に取り組んでいる方などをご紹介します。

かすが台「朝の会」



今月は、毎週月曜日にガスト坂下店で開催されています『かすが台朝の会』をご紹介します。

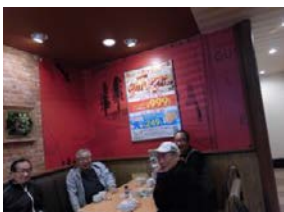
『朝の会』は平成29年3月に春日台集会場で開催された『かすが台カフェ』参加者のアンケートから、「お茶を飲みながら交流する機会があったらいいね」といった声上がり、翌年度の自治会で検討されました。

春日台カフェのような準備や周知は難しいが、「近くにあるガストなら気軽に参加できる」と、当時の親睦委員の方が世話役になって、昨年7月から始まった活動です。「誰でも気軽に参加できる『朝の会』で、住民同士の融和が図れ、かすが台が住みやすい団地になるといいね。」と参加されている方から話がありました。毎回10人以上の参加があり、ガスト開店の9時から10時すぎまで和気あいあいと交流されています。

自治会の会報等で周知したり、誘い合ったりして、取材した当日は19名の方が参加されていました。申し込みや欠席の連絡も不要で参加費はモーニング代の323円のみです。

お世話係の方からの一言

始めの頃は名前も顔も知らない方ばかりでしたので名札を作りました。顔見知りの方が増えていくことが楽しみです。かすが台の方が100人位来ていただけるといいですね。



地域包括支援センターとは？

地域包括支援センターは、春日井市の委託により運営される高齢者に関する総合相談機関です。支援が必要な高齢者やその家族の状況に応じた各種の保健福祉サービスが総合的に受けられるよう、情報提供や関係機関との連絡調整などを行います。相談は無料です。お気軽にご相談ください。

